

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

宮城県南三陸町 南三陸病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救臨輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
13,529	8,554	第1種該当	10:1	

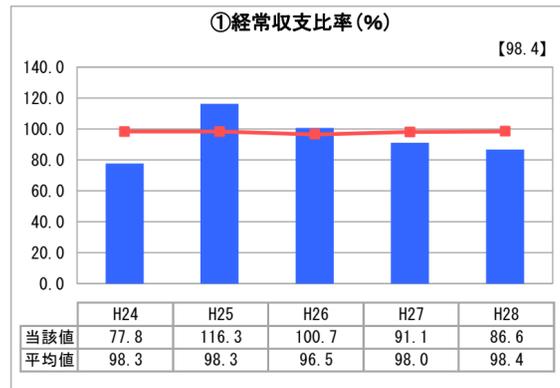
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

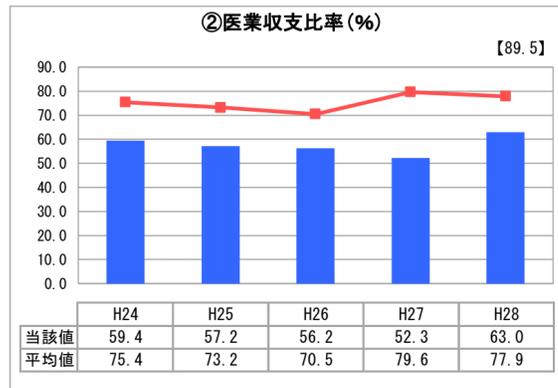
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
40	50	90

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成28年度全国平均

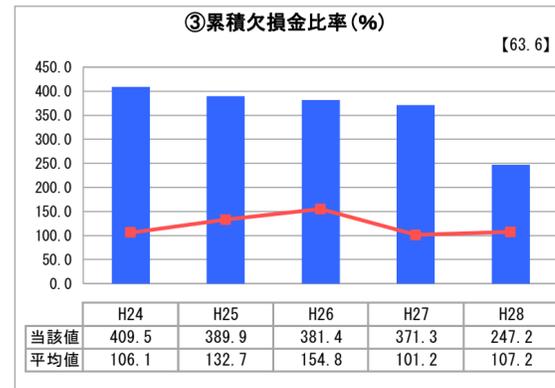
## 1. 経営の健全性・効率性



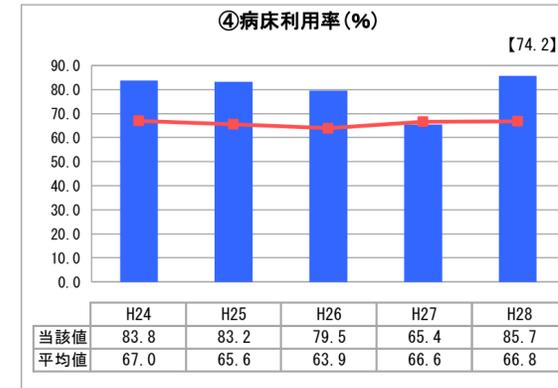
「経常損益」



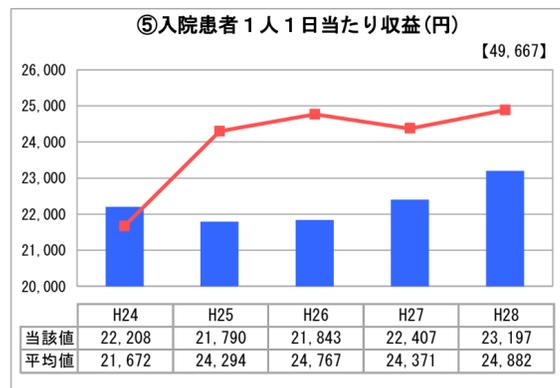
「医業損益」



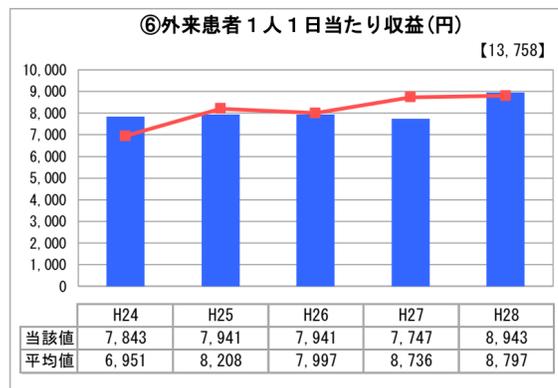
「累積欠損」



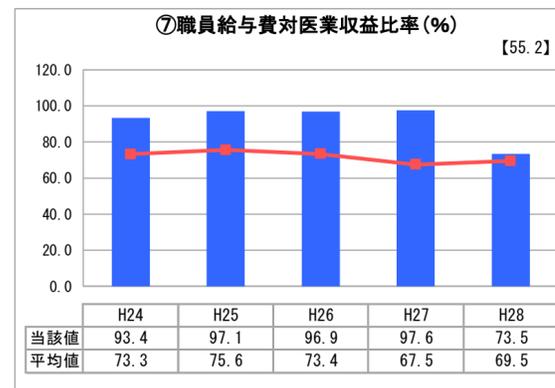
「施設の効率性」



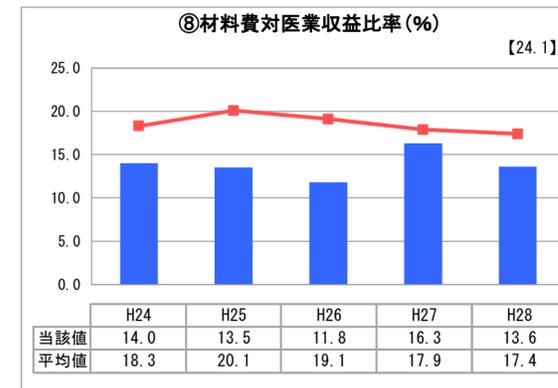
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

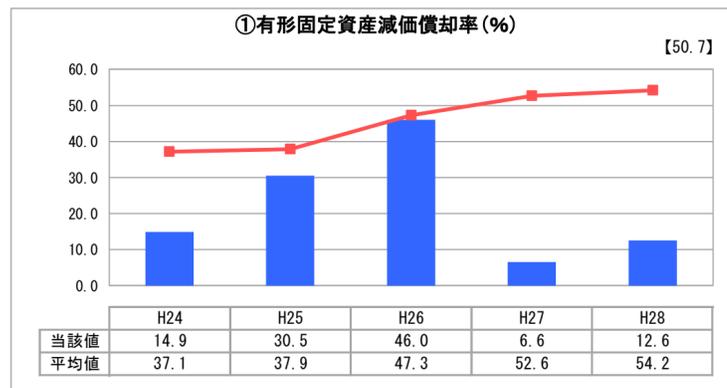


「費用の効率性①」

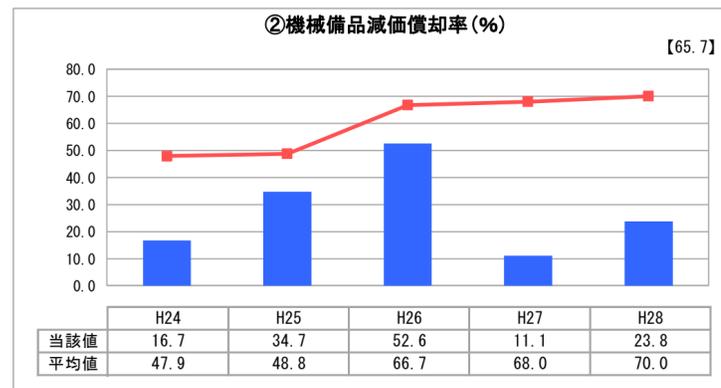


「費用の効率性②」

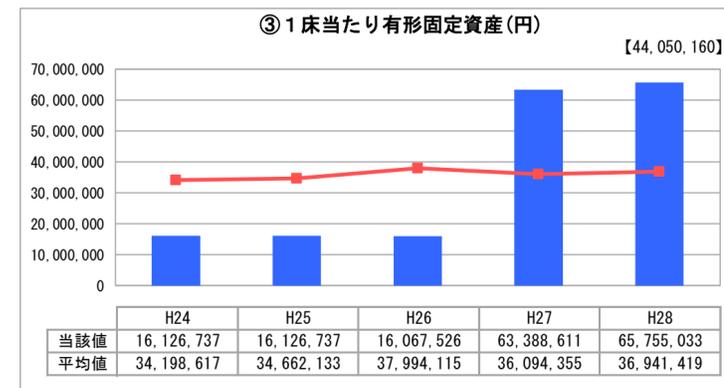
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

東日本大震災により南三陸地域の医療機関全てが流失した。震災後再建できた診療所、歯科診療所は其々2か所のみとなっている。また、入院施設は当院のみとなり地域の基幹医療施設として輪番制及び二次救急指定医療機関となっている。併設された「総合ケアセンター南三陸」及び「りあず訪問看護ステーション」とともに地域の医療・保健・福祉の拠点として地域包括ケアの構築に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

震災後27年12月再建までは、仮設診療所及び隣接自治体の借用施設での入院診療と2か所運営しており医療の継続と住民サービス重視で非効率的な運営を余儀なくされた。平成28年度より本格稼働し今後の健全性・効率性を検討する指標の基礎数値が確定した。病床利用率は平均値以上で推移しているものの入院患者一人一日当たり収益は平成28年度は上昇したものの未だに低い水準となっている。外来患者収益は平均水準となっており、今後の入院収益の向上を目指していくこととしている。医業収益が向上したことにより平成28年度の職員給与比率は平均に近づいている。材料費比率は平均値より低い水準にあるが、整形外科手術等の増加により今後診療構造が変化し増加が見込まれる。今後入院患者数の増加や診療報酬点数の見直しを図ることにより収支比率の向上に努めていくこととする。

### 2. 老朽化の状況について

平成27年12月に東日本大震災で全壊・流失した公立志津川病院を南三陸病院として再建、開院した。ほとんどの医療機器が、平成23年以降に寄付や補助金等により調達されたものであることから、今後計画的な保守や更新に努めていくこととしている。同様に、建物に関しても計画的な保守管理に努めていく。

### 全体総括

平成27年12月再建・開院したことにより住民に対して安定した医療の提供と持続的運営を図るため、患者数の増等収支改善に努めるとともに医療の根幹である医師や高齢化している医療従事者の確保に努めていく。医療機器及び各種固定資産等については経営状況等を勘案しながら計画的更新を図っていく。また、地域ニーズと周辺地域の医療環境を勘案しながら診療内容や経営形態及び病院事業の在り方等について関係機関と協議・検討していくこととする。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。